

1. 科目名 (単位数)	発達と老化の理解Ⅱ (2 単位)	3. 科目番号	SNMP2111
2. 授業担当教員	中里 克治		SSMP2311
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	本講義は、介護福祉士・高等学校福祉科教員に求められる発達と老化の理解に関する資質・能力を身につけることが目的である。具体的には、生涯発達の中での老年期の発達について学ぶ。老年期では、正常な発達過程である正常老化だけではなく、病的な老化についても同時に学ぶ必要がある。それは、中年期までの発達では、病的な発達の影響を受ける人が少ないが、老年期、特に老年期後期では多くの人が病的な過程の影響を受けるからである。また、高齢者は乳児期から中年期までの発達の歴史を基礎として、生活している高齢者の理解には、生涯発達の視点が欠かせない。		
8. 学習目標	1. 生涯発達の視点から誕生から死に至るまでの過程を学び、説明できるようになる。 2. 老年期の発達を正常な発達と発達の障害を対比しながら理解し、説明できるようになる。 3. 老年期において、どのような支援が可能であり、また、求められているかについて主体的かつ協働的に考えることができるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	随時、課題を出すが、最終のレポートを書いてもらう。 最終レポート課題：高齢者の介護では、身体面の介護を中心に行う。しかし、特別養護老人ホームを見ると、認知症やうつ病などの老年期特有の精神障害を持つ高齢者が大部分を占めている。そのほかにも、青年期や中年期に発病した統合失調症などを抱えながら、高齢期に達した人々もまれではない。高齢者を介護で、心のケアのためにケアワーカーとして何ができるかについて、2000字程度で述べなさい。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 下仲順子編『老年心理学 (改訂版)』培風館。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 生涯発達の視点から誕生から死に至るまでの過程について説明できるようになったか。 2. 老年期の発達を正常な発達と発達の障害を対比しながら説明できるようになったか。 3. 老年期において、どのような支援が可能であり、また、求められているかについて主体的かつ協働的に考えることができるようになったか。 ○評定の方法 学則で決められた単位取得の条件を満たしていること (3/4 以上の出席) を前提として、授業への積極的参加に毎回提出する授業へのコメントを加味し (50%)、期末レポート (50%) の結果を総合的に判断する。		
12. 受講生への メッセージ	ここで学ぶ事はこれから大分後に体験することである。心理学では問題を自分のこととして考える態度が大切である。親や祖父母など身近な人々の体験からも多くを学ぶことができる。		
13. オフィスアワー	別途連絡する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	高齢者心理学研究の歴史	事前学習	高齢者心理学研究はいつ始まったか、老化の概念にはどのようなものがあるかを調べてまとめる。pp. 1-12
		事後学習	高齢者心理学研究でどのような研究法が使われているか調べてまとめる。pp. 9-11
第 2 回	高齢社会の到来	事前学習	日本での高齢化の進行状況を調べてまとめる。pp. 13-18
		事後学習	人口の高齢化がもたらす社会の状況の変化をまとめる。pp. 19-22
第 3 回	高齢期の健康、身体疾患	事前学習	年を取るとはどのようなことか考察する。pp. 24-32
		事後学習	体と心の老化 pp. 24-36
第 4 回	高齢期の精神疾患	事前学習	高齢期特有の精神疾患には何があるか調べる。pp. 38-44
		事後学習	高齢期特有の疾患と疾患もつての老化をまとめる。pp. 38-44, pp. 48-50
第 5 回	高齢期の感覚、知覚機能の加齢変化	事前学習	「年を取るとはどのようなことか」について、自分の考えをまとめる。pp. 52-55
		事後学習	体と心の老化 pp. 52-62
第 6 回	高齢者の記憶	事前学習	「年を取ると物忘れするようになるのか」について自分の考えをまとめる。pp. 64-67
		事後学習	記憶の種類と加齢の関係性についてまとめる。pp. 64-71 プリントの参照のこと
第 7 回	知能と加齢	事前学習	「年を取ると“ぼける”のか」について自分の考えをまとめる。pp. 38-43 第 3 回のプリントも参照
		事後学習	知能の加齢と関係する要因を調べてまとめる。pp. 79-81
第 8 回	人格と加齢	事前学習	パーソナリティの老化について調べる。pp. 89-106

		事後学習	「パーソナリティは老化で変わるのか」について自分の考えをまとめる。pp. 98-106
第 9 回	高齢期の適応	事前学習	高齢期の適応の問題点を調べる。pp. 109-112
		事後学習	ライフスタイルとパーソナリティについて調べる。pp. 109-116 プリントも参照
第 1 0 回	高齢期の家族	事前学習	少子高齢化と家族の関係について調べる。pp. 122-129
		事後学習	「高齢者にとって家族の持つ意味」について自分の考えをまとめる。pp. 16-132
第 1 1 回	高齢期の対人関係と社会生活	事前学習	高齢者の人間関係はどのようなものかについて調べる。pp. 134-145
		事後学習	高齢者の社会参加とソーシャルサポートの重要性をまとめる。pp. 134-145
第 1 2 回	死と死にゆく過程	事前学習	「自分の死に対する考え方」を確かめ、まとめる。pp. 147-149
		事後学習	「死に向かう人に何ができるか」について自分の考えをまとめる。pp. 149-158
第 1 3 回	高齢者の認知， 知能・記憶機能の測定	事前学習	知能・記憶機能の測定方法について調べる。pp. 160-170
		事後学習	神経心理学的検査について調べる。pp. 168-170
第 1 4 回	高齢者の人格，精神健康の測定， 心理療法	事前学習	高齢者の心理療法について調べる。pp. 185-198
		事後学習	対象別の心理査定と心理療法について調べてみる。pp. 172-198
第 1 5 回	まとめ	事前学習	「人生の意味」について自分の考えをまとめる。第 8 回、第 9 回を参考に
		事後学習	「死の意味」について自分の考えをまとめる。死によって人生が完結する。死に積極的な意味付けができるでしょうか。